

令和元年度は下表のとおり188事業(全205事業中)について評価を行いました。最終評価では、このうち150事業について「計画通り進める」、38事業が「改善検討」と判定しました。

政策評価委員会による外部評価では3事業が選定され、このうち2事業が「計画通り進める」、1事業が「改善検討」と判定されました。

今年度の評価結果

続く二次内部評価では、副町長が一次内部評価と外部評価の結果を踏まえ、次年度の予算編成と合わせて事業担当課へのヒアリングを行い、評価判定を決定します。

最終内部評価では、町長が二次内部評価の結果を踏まえ、次年度の予算編成と合わせて事業担当課へのヒアリングを行い、最終的な評価判定をします。

担当課、副町長、町長の3段階にわたる「内部評価」と町民目線による「外部評価」により、事業を適切に評価し、より効果的な事業の実施に向けた改善に取り組んでいます。

政策評価の結果 (令和元年度)

評価判定項目	一次評価	外部評価	二次評価	最終評価	割合 (対前年比)
計画通り進める	162 事業	2 事業	150 事業	150 事業	79.79% (↑ 11.11%)
改善検討	(事業内容)	10 事業	13 事業	13 事業	20.21% (↓ 10.56%)
	(事業費)	1 事業	2 事業	2 事業	
	(その他)	15 事業	23 事業	23 事業	
抜本的見直し	0 事業	0 事業	0 事業	0 事業	0.00% (↓ 0.55%)
合計	188 事業	3 事業	188 事業	188 事業	

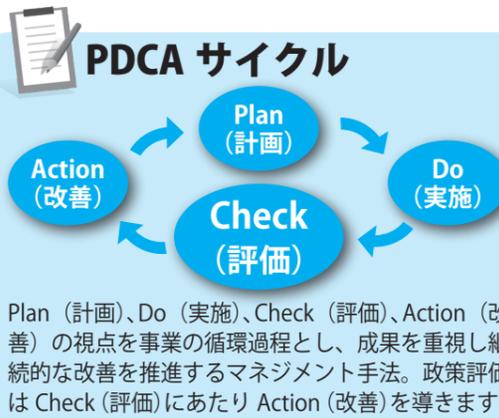
まちの事業をしっかりとチェック！

政策評価

【問い合わせ】 町経営企画課地域政策グループ ☎ 73-7502

町では、総合計画の施策目標に基づき実施する計画事業の進捗状況や現状の課題、成果などを評価・検証し、次年度への改善につなげる政策評価を、平成20年度から実施しています。

このほど、令和元年度の政策評価(事中評価)結果がまとまりましたので、実施概要と合わせてお知らせします。



評価の仕組みと流れ

政策評価は、町長、副町長、事業担当課による自己評価を行う「内部評価」と、町民目線の客観的な評価と提言を行う「外部評価」により進めます。

内部評価は、年2回実施し、まず、半期を終えた9月までの事業実施状況に対する評価を「事中評価」として、10月から翌年2月にかけて次年度の予算編成と合わせて行います。「事中評価」の結果は、当年度の成果達成に向けた改善策の反映、さらに次年度へ向けた見直しと予算に反映します。次に、3月には、当年度通期の事業実績

を踏まえて「事後評価」を行い、次年度の成果達成に向けた改善策に反映します。

これは、継続的に事業を改善し、PDCAサイクル(上図参照)による実効性のある事業を展開していくために欠かせない仕組みです。

政策評価の対象は、平成27年度からスタートした、まちの最上位計画「第6次総合計画」に位置付けられている事業です。

流れとしては、はじめに一次内部評価として、事業担当課が事業ごとに設定した活動指標および成果指標の実績を把握します。次に、前年度の評価で出た改善内容や現状の課題を検証し、今後の実施方針を提示したうえで、評価判定を決定します。

並行して進められる外部評価では、公募した町民などで構成される政策評価委員会が特に関心の高い事業を評価事業として選定。現地視察や学習会を行い、評価対象事業への理解を深めます。その後、事業担当課へのヒアリングを経て、一次内部評価の結果も踏まえながら町民目線で評価を実施。評価判定と改善策の提案などを報告書にまとめ二次内部評価前に町長へ提言します。

外部評価

町民目線から事業評価
政策評価委員会が報告書を提出



◆政策評価委員(任期2年)

- ◆委員長 大沼 英明
- ◆副委員長 鈴木 克典 (北星学園大学教授)
- ◆委員 菊地 愛実、小原 純、西岡 政則

政策評価委員会は、「町民団体が連携・協力する地域活性化・賑わい創出活動を支援」広報くりにやまの発行など、行政情報を広く発信「くりやま若者シテイプロジェクト」に関する3事業について報告書をまとめ、昨年12月18日、町に提出しました。

委員会は10月から8回にわたり開催。評価対象事業の現地視察を含む事前学習会とヒアリングを行い、有識者委員である北星学園大学の鈴木克典教授の助言を受けながら、事業内容の把握に精力的に取り組まれました。

大沼委員長は「評価対象事業に対して、『ヒト・モノ・お金』などの視点から積極的に質問、意見、提言を行い活発な議論のもと評価を行うことができました。町民と行政が協働のもと、将来のまちづくりの一助になれば幸いです」と述べ、報告書を受け取った佐々木学町長は感謝の意を伝えました。

政策評価の流れ

